

独立系リージョナルエアラインとしては日本初となる 連続式耐空証明の取得について

2018年4月6日

株式会社 フジドリームエアラインズ(略称:FDA、本社:静岡県静岡市、代表取締役社長:三輪 徳泰)は平成30年4月6日(金)付で、国土交通省航空局より、当社が保有するFDA 4号機(エンブラエルERJ170)への『連続式耐空証明書』を取得いたしました。

耐空証明とは航空機を運航するために必要な機体の性能や安全性を認めるもので、自動車の車検のように年に1回の検査を行い、基準を満たした機体については国土交通省航空局より交付されます。これまで耐空証明のための検査では1機あたり年間3~4日程度の整備運休が必要でしたが、連続式耐空証明の取得により、年1回の検査が不要となります。

この連続式耐空証明の取得は、当社における航空機の整備管理体制が国土交通省による厳正な審査のうえ認められたもので、大手航空会社のグループに属さない独立系リージョナルエアライン(100席以下の小型ジェット機を使用して地方都市間を相互に結ぶ航空運送事業)としては日本初となり、エンブラエル社製ERJ170型機を運用する日本の航空会社としても初めての取得となります。

今後は4号機以外の機体においても耐空証明の更新時に連続式耐空証明へ切り替えを行い、約1年を掛けて当社が保有する全12機で取得する予定です。これにより年間約30日程度発生していた整備運休が無くなり、安定した航空サービスの提供とお客様の利便性向上に繋げることができます。

これからもFDAは健全な整備管理体制の下、社員一丸となって機材品質を高め、より一層の安全性向上を目指すとともに、地域と地域を結ぶリージョナルエアラインとして、お客さまに安全で快適な空の旅を提供してまいります。



県営名古屋空港に駐機するFDAのエンブラエルERJ170型機(上から1号機、4号機、5号機)